

I 学校の概要

1 校区のあらまし

校区の東南部には上信越高原国立公園「清津峡」の絶景や温泉、県自然環境保全地域の「小松原湿原」、文部科学省指定名勝天然記念物の「七ツ釜」、日本有数の河岸段丘地帯などの自然環境に恵まれている。信濃川とその支流清津川・釜川に沿って開けた地域に42の集落が点在する農業と観光の町である。

国道117号線と353号線の交わる付近には、商店街が形成され、町の中心となっている。当校はその中心地から少し南よりの桔梗原にある。

学区は広範囲に渡り、最遠通学距離は約10kmである。通学方法は、徒歩生徒が61.4%(91名)、バス通生徒が33.6%(46名)である。バス路線は定期バスが4方面(清津峡・貝野・倉俣・芋沢地区)、市委託のスクールバスが3方面(東貝野・原町・新里地区)である。

平成8年7月に宮中温泉「ミオン中里」がオープンし、同8月に清津峡大橋が開通、同10月に清津溪谷トンネルが完成した。さらに平成10年3月「ゆくら妻有」がオープンし、今後も観光面で将来の発展が期待されている。

平成17年4月には中里村が十日町市と合併し、十日町市立中里中学校と名称変更した。また平成18年には、新潟県立津南中等教育学校が開設され、当校学区の小中学校からも進学を希望する生徒がいる。今後教職員一丸となって、特色ある学校づくりを地域とともに推進していくことが求められている。

なお、平成24年度までの卒業生は2,141名となり今年で29年目を迎える。

2 学校の沿革

- 昭和55. 2 統合中学校用地取得
- 昭和58. 8 中里中学校校舎棟完成
- 昭和59. 12 中里中学校体育館棟完成
- 昭和60. 3 3 中学校閉校・中里中へ
(田沢中、倉俣中、貝野中)
- 昭和60. 7 プール完成
- 平成元年10 創立5周年記念式典挙行
- 平成 2. 4 社会福祉研究普及校(～平成4)
- 平成2. 7 寄宿舎 「清津寮」閉舎式
- 平成4. 10 コンピュータ施設竣工式
- 平成5. 4 県中教研研究指定校
(音楽 平成7年度までの3年間)
- 平成6. 10 創立10周年記念式典挙行
- 平成7. 11 県中教研指定「音楽科研究発表会」
- 平成11. 3 音楽室床の全面張替
- 平成11. 9 給食室改築
- 平成12. 9 コンピュータ入替
- 平成16.12 創立20周年記念式典
- 平成17. 4 中里村を含めた5市町村が合併したことにより、十日町市立中里中学校と改称
- 平成21.11 体育館改修工事
- 平成22.3 コンピュータ入替
- 平成22.11 グラウンド改修工事
- 平成23. 4 小中一貫教育モデル中学校区指定

